

令和7年3月3日

奥沢小学校校長 前田 恵里 殿
学校運営委員会委員長 萩原 富夫 殿

学校学校関係者評価委員会
委員長 来栖真喜子

令和6年度 学校関係者評価委員会 報告書

【 1. アンケート集計分析と評価について 】

(1) アンケート実施時期 令和6年 11 月 1 日～11 月 15 日

(2) アンケート対象者および回収率

5 年・6 年全児童 136 名に実施 回収率 88%

全学年保護者 456 名に実施 回収率 94%

地域 59 名に実施 回収率 64%

(3) アンケート結果の評価分析については、次のように行った。

アンケートの回答のA「とても思う」とB「思う」を肯定的回答とし、C「あまり思わない」とD「思わない」を否定的回答、E「分からない」を不明回答とした。また、AとBの合計が 75%以上であるものを良好な項目と評価した。％値およびポイント数は、小数点以下を四捨五入して表記した。分析にあたっては、学校が実施した「教職員自己評価」「チーム担任制についてのアンケート」等も参考にした。

【 2. 総 評 】

(1) 一昨年度より始まったオンラインでのアンケート実施で、保護者の回収率が低かったが、本年度、リマイン드의メール配信とともに回答済み確認の手紙配布の実施等、先生方の努力により、回収率が飛躍的に良くなった。

	本年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度
児童	88%	89%	87%	100%	98%
保護者	94%	42%	36%	92%	98%
地域	64%	49%	47%	62%	72%

(2) 肯定的・否定的・不明回答の数は、下記のとおりである。昨年度に比べ、地域では肯定的回答の項目が増え、保護者の不明回答の項目が増えた。

		本年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度
児童	肯定的回答 75%以上	21/25 項目	20/24 項目	23/25 項目	20/22 項目	12/21 項目
	否定的回答 25%以上	0/25 項目	1/24 項目	1/25 項目	1/22 項目	3/21 項目
	不明回答 20%以上	0/24 項目	1/24 項目	1/25 項目	2/22 項目	3/21 項目
保護者	肯定的回答 75%以上	15/38 項目	17/38 項目	18/38 項目	18/34 項目	7/32 項目
	否定的回答 25%以上	6/38 項目	8/38 項目	7/38 項目	4/34 項目	5/32 項目
	不明回答 20%以上	8/38 項目	3/38 項目	8/38 項目	4/34 項目	6/32 項目

地域	肯定的回答 75%以上	14/17 項目	11/17 項目	13/17 項目	11/15 項目	10/15 項目
	否定的回答 25%以上	2/17 項目	2/17 項目	2/17 項目	2/15 項目	2/15 項目
	不明回答 20%以上	0/17 項目	1/17 項目	1/17 項目	1/15 項目	1/15 項目

肯定的回答…A+B 否定的回答…C+D 不明回答…E
(Aとても思う B思う Cあまり思わない D思わない E分からない)

(3) 肯定的回答の多い項目の上位3位は、以下のとおりである。児童においては、学校行事や生活の楽しさ、保護者においては学校行事についての項目が高評価である。

【設問番号に続く数値%は、肯定的回答(A+B)%を示す】

児童

- ・児 3-1 95%《学校行事は楽しい》
- ・児 6-1 93%《学校生活は楽しい》
- ・児 1-4 92%《先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている》

保護者

- ・保 3-1 94%《学校行事は、子どもにとって楽しい》
- ・保 3-2 91%《学校行事は、子どもにとって達成感がある》
- ・保 9-1 90%《私は、学校公開にすすんで参加している》
- ・保 11-2 90%《本校は、避難訓練やセーフティ教室などで子どもに安全に関する指導をしている》

地域

- ・地 2-1 100%《学校行事の内容は充実している》
- ・地 4-1 100%《学校の重点目標が明確である》
- ・地 3-1 97%《学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる》
- ・地 6-2 97%《学校は安全性を高めようと地域と協力している》
- ・地 5-1 97%《地域の人や施設を教育活動に活かしている》

(4) 保護者の不明回答が 20%を超す項目は、以下のとおりである。4.キャリア教育の全項目(保4-1, 保4-2)と、10.地域との連携の全項目(保10-1, 保10-2, 保10-3)が含まれている。いずれも、保護者にとってはわかりにくい項目であると思われる。【3.各項目についての評価】でのべる。

【設問番号に続く数値%は、不明回答(E)%を示す】

保護者

- ・保 1-2 24%《本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している》
- ・保 2-1 20%《本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている》
- ・保 4-1 23%《本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している》
- ・保 4-2 32%《本校の教員は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている》
- ・保 6-3 28%《学び舎による幼小中の連携や交流活動が行われている》
- ・保 10-1 22%《本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている》
- ・保 10-2 26%《本校は、地域の活動などに協力的である》
- ・保 10-3 33%《本校は、地域に情報を提供している》

(5) 本校では、今年度、児童を多角的にみとることや各学級における指導の均等化を実現するため、1年生2年生で副担任制、3年生以上でチーム担任制を導入した。チーム担任制についてのアンケートでは、児童・保護者・教員ともに、児童が複数の教員と関わりが持てるのでよいという声が多かったが、保護者のなかには相談窓口に迷うという意見もみられた。学校は、明らかになった課題についてはその都度に改善策を練りながら進めてきたが、今後もさらに改善していくとのことであった。また、学校運営委員会では、今年度は委員会独自にチーム担任制について勉強会を開き、理解を深めるなどした。今後、学校運営委員会としても、学校のバックアップをする体制を作っていきたいとのことであった。この新しい取り組みによって、常に児童が落ち着いて学習・生活でき、安心して過ごせるよう、よりよい学校になっていくことを期待する。

【 3. 各項目についての評価 】

1. 学習・学習指導について

児童は、いずれも良好であったが、児 1-3 で 5 年生の評価がやや低かった。

保護者は、ほぼ、例年と同様の評価で、いずれもやや低い。児童では良好で、保護者の学習に対する期待が高いためと思われる。

児童

- ・児 1-1 88%《学ぶことが楽しい》
- ・児 1-2 91%《先生は、課題(めあて)について、自分で考えたり友達と考えたりする時間を授業の中で取っている》
- ・児 1-3 77%《先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している》
- ・児 1-4 88%《授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある》
- ・児 1-5 92%《先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている》

保護者

- ・保 1-1 68%《本校は、子どもが考えることや課題を解決することを大切にしたい授業を行っている》
- ・保 1-2 61%《本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している》
- ・保 1-3 73%《本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある》
- ・保 1-4 66%《本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている》

2. 生活指導について

児童は、いずれも良好であった。児 2-1 で昨年より肯定的回答が 10 ポイント増えており、本校の先生方の努力がうかがえる。

保護者は、いずれもやや低く、学年によっても違いがある。生活指導については学校内の取り組みとともに家庭の姿勢や協力も大切と考えられる。

地域は、良好である。

児童

- ・児 2-1 88%《私は、学校のきまりを守って、行動している》
- ・児 2-2 84%《学校きまりを守らない児童に先生は注意している》
- ・児 2-3 91%《先生に注意されたことは、理解できる》

保護者

- ・保 2-1 63%《本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている》
- ・保 2-2 69%《本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している》

地域

- ・地 1-1 84%《通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている》

3. 学校行事について

児童、保護者ともに全て良好で、昨年度と同等もしくは上昇している。地域の評価も、上昇している。学校の取り組みが評価されたと考えられる。

児童

- ・児 3-1 95%《学校行事は楽しい》
- ・児 3-2 91%《学校行事は達成感がある》
- ・児 3-3 86%《先生は、児童の意欲を大切にしている》

保護者

- ・保 3-1 94%《学校行事は、子どもにとって楽しい》
- ・保 3-2 91%《学校行事は、子どもにとって達成感がある》
- ・保 3-3 81%《本校は、子どもの意欲を大切にしている》

地域

- ・地 2-1 100%《学校行事の内容は充実している》
- ・地 2-2 92%《事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある》

4. キャリア教育について

児童の児 4-2 は良好である。児 4-1 はやや低い较去年より8ポイント改善されている。児 4-3 も低いが、学年別にみると6年生の評価が良好で5年生の時より34ポイント高くなっている。学校としては、6年生に見せている奥沢中学校の紹介動画を5年生にも見せ、奥沢中学校の魅力を伝えていくということである。小学生にとって、中学校の情報は、保護者から得たり中学校の行事や地域の行事を通じて得る場面も多いと思われる。中学校の学校行事参観を開放するなど、より関心が持たれるような工夫が引き続き必要と考えられる。

保護者は、いずれも低く、保 4-1 は昨年より低下している。学校としては、各学年、学級でキャリア教育の視点を踏まえた授業を行い、年間で1回以上、学校のホームページで伝えていくということである。『キャリア教育』に関する設問は、例年低めの値になる。学校には、「生きる力を身につけるための教育」として、保護者に理解してもらう工夫を引き続きお願いしたい。

児童

- ・児 4-1 73%《自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある》
- ・児 4-2 79%《目標をもち、その実現に向けて努力している》
- ・児 4-3 60%《区立中学校に関する情報が提供されている》

保護者

- ・保 4-1 58%《本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している》
- ・保 4-2 48%《本校の教員は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている》

5. 先生・教職員について

児童は、いずれも良好だった。

保護者の保 5-1 は、良好であるが、学年によって違いがみられる。保 5-2 は例年やや低い項目である。今年度は、数値が上がった学年も下がった学年もあった。学校が保護者に実施したチーム担任制についてのアンケートでは、「誰に相談していいかわかりづらい」という回答が少なくなかった。これを受けて、学校では、「誰にでも相談していい」ことを保護者会や学校便りでも周知していくということであった。児童にとっても保護者にとっても、相談しやすい状況をつくるには、全校で対応できる仕組みづくりが重要と思われる。そういう面からも、今年度より導入されたチーム担任制が次年度に向けて、より効果的に機能していくことを期待する。

児童

- ・児 5-1 91%《先生たちは丁寧に指導してくれる》
- ・児 5-2 82%《先生たちに相談できる》

保護者

- ・保 5-1 77%《本校は、丁寧に指導している》
- ・保 5-2 68%《本校は子どものことを相談しやすい》

6. 全般について

児童の児 6-1, 児 6-2 は良好で、昨年度よりも児 6-1 は 3 ポイント、児 6-2 は 9 ポイント数値が上がった。児 6-3 は、やや低く、年々下がる傾向がみられる。一方、児 6-4 の数値は上がってきている。『学び舎』の項目の児 6-5 は低いが、前述の児 4-3 と同様に、学年別にみると 6 年生の評価が良好で 5 年生の時より 40 ポイント高くなっている。

保護者は、保 6-1 は良好だが、保 6-2, 保 6-3 は低く、保 6-4, 保 6-5 はやや低い。特に、保 6-2 は昨年より 5 ポイント減少している。児 6-3 と保 6-2 のいずれもが低下しており、家庭学習の不足が心配される。学校としては、家庭での学習について自主的に学習したいと思える課題が出せていないのが現状で、家庭との連携も必要と考えている。今後、長期休みの課題にキュビナを活用し、e ラーニングに触れる機会を設定するなどして、できる限り課題の内容や出し方を工夫していくとのことであった。また、「教育活動に満足」を高めるためにチーム担任制を取り入れている学年では、より質の高い授業を展開できるよう、教科の分担を精選するとのことである。

児童

- ・児 6-1 93%《学校生活は楽しい》
- ・児 6-2 90%《学校が好き》
- ・児 6-3 67%《家庭で宿題や e-ラーニングでの学習をしている》
- ・児 6-4 80%《塾で学習している》
- ・児 6-5 62%《学び舎の中学校に行ったり、中学生がきたりする機会がある》

保護者

- ・保 6-1 85%《本校の学校生活は子どもにとって楽しい》
- ・保 6-2 57%《子供は家庭で自主的に学習している》
- ・保 6-3 50%《学び舎による幼小中の連携や交流活動が行われている》
- ・保 6-4 69%《本校の教育活動に満足している》
- ・保 6-5 69%《子どもは、体力向上や健康な生活に取り組んでいる》

7. 学校からの情報提供について

「学び舎」の保 7-2, 地 3-2 のみやや低いが、他は良好である。保護者アンケートへの返答や学校の取り組みについてのお知らせも丁寧で、保護者は情報を得ているという安心感があるものと思われる。日頃の地域へのお知らせも必要に応じ適宜行われている。「学び舎」については、学校は保護者に奥沢中学校の学校だよりを配付、保護者会での中学校校長による説明、7月には中学校の授業公開があり、折にふれて学び舎の活動についても学校だより等に記載するなどしているが、まだ実感を得るには至っていないと思われる。学校は、今後も継続的に取り組むとのことである。

保護者

- ・保 7-1 83%《本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している》
- ・保 7-2 71%《「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている》
- ・保 7-3 87%《本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる》
- ・保 7-4 79%《本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している》

地域

- ・地 3-1 97%《学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる》
- ・地 3-2 66%《「学び舎」の活動について、情報が提供されている》
- ・地 3-3 89%《学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる》
- ・地 3-4 84%《学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている》

8. 学校運営について

保護者、地域、いずれも良好である。前述の情報提供に関する保 7-1, 保 7-3, 保 7-4, 地 3-1, 地 3-3, 地 3-4 も良好なので、保護者にも地域にも必要な情報が提供されており、学校運営についても評価されている。

保護者

- ・保 8-1 77%《本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている》
- ・保 8-2 78%《校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる》

地域

- ・地 4-1 100%《学校の重点目標が明確である》
- ・地 4-2 89%《地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している》

9. 学校と家庭との連携について

昨年度と同様、保 9-1 は良好である。保 9-2 は、昨年度 8 ポイント上がっていたが今年度は 5 ポイント下がり、やや低くなった。保 9-3 は、例年同様低く、否定的回答も 31% と多い。前述の保 8-1 で良好であるので、「学校は重点目標を伝えているが、理解しているとは感じていない」ということと推察される。学校としては、学校重点目標を一つの言葉に集約することで分かり易く伝え、学校だよりには常にその言葉を記載して日常的に触れられるように工夫していくとのことである。

保護者

- ・保 9-1 90%《私は、学校公開にすすんで参加している》
- ・保 9-2 69%《私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している》
- ・保 9-3 51%《私は、今年度の学校重点目標を理解している》

10. 地域との連携について

保護者は、保 10-1、保 10-2、保 10-3 いずれも昨年度より数値が下がってやや低く、不明回答も 22～33% と多い。一方、地域は、地 5-2 を除き、良好である。学校では、地域と連携した教育活動をさまざま行っており、今後、学校ホームページなどを活用して、保護者へも周知するとのことである。

また、地域では、学校協議会に関する地 5-2 が低い。本校では具体的な活動は行われていない。学校運営委員会に関する地 5-3 は、昨年度やや低かったが今年度は 12 ポイント上がっている。学校が、運営委員会開催後すみやかに詳しいお便りを発行するなど、活動の周知に努めたことによると思われる。

保護者

- ・保 10-1 68%《本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている》
- ・保 10-2 69%《本校は、地域の活動などに協力的である》
- ・保 10-3 60%《本校は、地域に情報を提供している》

地域

- ・地 5-1 97%《地域の人や施設を教育活動に活かしている》
- ・地 5-2 55%《学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている》
- ・地 5-3 84%《学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている》

11. 学校の安全性について

保護者は、保 11-1 のみ、昨年に引き続きやや低い。学校は、遊びのルール作りや看護当番見守りによる休み時間の怪我防止、下校指導や毎月の安全指導による交通事故防止、地震・火災・不審者避難訓練、各月各学期の学校施設安全点検、地域危険個所の確認、救命救急講習の受講、アレルギー対応訓練等の取り組みを学校だよりに記載し、保護者に周知していくとのことだった。保護者がどのような「安全」に不安や疑問を感じているのかを把握する必要があると考えられる。

地域は、いずれも良好であった。

保護者

- ・保11-1 71%《本校は、安全な学校づくりを進めている》
- ・保11-2 90%《本校は、避難訓練やセーフティ教室などで子どもに安全に関する指導をしている》
- ・保11-3 78%《本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している》

地域

- ・地6-1 92%《学校は、安心安全な学校づくりを進めている》
- ・地6-2 97%《学校は、安全性を高めようと地域と協力している》

12. 独自項目

独自項目は、本校の重点目標であるが、児童は、いずれも良好で9割近い肯定的回答となった。これらの力が子どもたちのなかでよりよい方向に育っていくことを期待したい。

保護者は、保独-1,保独-2 は良好で、協調性や自己肯定的な考え方については認めている。しかし、保独-3,保独-4 が低く、否定的回答も 31%ある。集中力の持続や挑戦する気持ちについては、子どもたちと保護者の望む姿にギャップがみられる。保独-5も低いが、設問内容の要素が多く、保護者には答えにくいのではないかと推察される。

地域は、地独-1,地独-3 は良好だが、地独-2「あいさつ」に対してやや低くなっている。学校では、月の生活目標で週のはじめはあいさつに関する目標を立てており、児童運営や奥沢中学校の生徒会を中心に、学び舎あいさつ DAY にあいさつ運動も実施しているとのことである。

児童

- ・児独-1 86%《私は、「人とわかり合う力」を意識しながら学習している》
- ・児独-2 88%《私は、「自分のよさを生かす力」を意識しながら学習している》
- ・児独-3 86%《私は、「自分で乗り越える力」を意識しながら学習している》
- ・児独-4 86%《私は、「自分の目標に向かう力」を意識しながら学習している》

保護者

- ・保独-1 83%《子どもは、相手をおもいやる心が育っている》
- ・保独-2 78%《子どもは、自分の良いところや得意なことをわかっている》
- ・保独-3 63%《子どもは、様々なことに粘り強く活動している》
- ・保独-4 60%《子どもは、めあてをもって自分から取り組もうとしている》
- ・保独-5 63%《子どもは、タブレットを使って学習し、分かったことをまとめたり、先生や友達に考えを伝え合ったりする楽しんでいる》

地域

- ・地独-1 89%《奥沢小の子どもたちは、地域活動や地域行事に積極的に参加している》
- ・地独-2 61%《奥沢小の子どもたちは、気持ちの良いあいさつをしている》
- ・地独-3 92%《奥沢小の子どもたちは、地域の人と関わりながら、地域の中で見守られて成長している》

【 4. 委員からの付記意見 】

昨年度まで低かったアンケート回収率が、本年度は、教職員が回答済み確認の手紙配布をするなどし、高まった。しかし、教職員の労力を使わずに済む方法がよい。また、重複の回答などデータ集計上の不具合への対応、特別支援学級と普通級のデータの分離、設問数・設問内容の厳選を、教育委員会にお願いしたい。

【 5. 開催された評価委員会等の活動 】

令和6年	4月8日(月)	入学式
	6月6日(木)～8日(土)	学校公開 参観
	6月27日(木)～	世田谷区教育委員会主催 説明会(オンデマンド配信)
	9月5日(木)～12日(木)	夏休み作品展 参観
	9月19日(木)	第1回 学校関係者評価委員会 (学校長より学校経営方針報告・評価方針・独自項目検討)
	10月12日(土)～16日(水)	学校公開 参観
	11月1日(金)～15日(金)	児童・保護者・地域アンケート実施
	11月9日(土)	運動会 参観
	12月25日(水)	第2回 学校関係者評価委員会 (アンケート結果の分析評価)
令和7年	1月7日(月)	教職員企画運営会議への分析データ・評価中間報告書提出
	1月14日(火)～20日(月)	書き初め展 参観
	1月18日(土)～20日(月)	学校公開 参観
	1月22日(水)	第3回学校関係者評価委員会(Zoom 開催) (報告書文案作成)
	2月4日(火)	学校運営委員会での評価中間報告・意見交換
	2月7日(金)～8日(土)	奥沢発表会 参観
	2月19日(水)	和みの学び舎合同研修会 奥沢小学校研究発表 参観
	3月3日(月)	学校長・学校運営委員会への評価報告書提出

【 6. 評価委員会 委員 】

委員長 来栖 真喜子

委員 五島 満、田島 佳江、伸澤 秀基、早川 志野、増田 光子、湊 五郎 (五十音順)

以上